



# 竹林

白河市立五箇中学校だより No. 4

発行 令和5年4月28日  
発行責任者 校長 小林 敏史



## 「やった方がいい」とわかっているのに・・・ ～朝会講話～

今週の朝会で、こんなお話をしました。

### 朝会講話 ※ 一部抜粋

今ほど、学級委員、奉仕部長・副部長の方々に任命状をお渡ししました。それぞれの役割をしっかりと果たしましょう。今日任命状をお渡しした人以外も、みなさんそれぞれ何かしらの係や役目を担っています。その際、やった方がいいと思うことは積極的にやる！ということをお心げきましょう。

とは言ったものの、これがなかなか出来ないことが多いのも現実です。

例えば、あいさつの声。「大きい声と小さい声、どちらの方がいいと思いますか？」と尋ねると、おそらく、全員が大きい声と答えると思います。では、実際、「今日のあなたのあいさつの声は、大きかったですか？」と尋ねたらどうでしょう？「いや。そんなには・・・」と答える人が多いんじゃないかと思えます。

また、道ばたにゴミが落ちていたとします。「拾った方がいいですか？ 拾わない方がいいですか？」と尋ねれば、これも全員が拾った方がいいと答えると思います。では実際に今まで道ばたのゴミを拾ったことのある人はどれくらいいるでしょう？

「大きな声であいさつしましょう！」「ゴミが落ちていたら拾いましょう！」と呼びかけることも大切。でももっと大切なことは、そのことを自分から進んで実践することです。つまり「出来る、出来ない」ではなく「やるか、やらないか。」です。だってやった方がいいことはみんな分かっているんですから。

「私がやらなきゃ誰がやる」ってセリフ。どこかで聞いたことがあるでしょ？ ところがこのセリフ、1文字濁点が抜けたら、大変なことになっちゃうんですね。

「私がやらなきゃ **誰か** やる」・・・

ほら、「自分は関係ないや」という無責任な人のセリフになってなくなってしまいました。やった方がいいに決まっているとわかっているながら、実際はやってない、できていないということが、身の回りに案外多いのではないのでしょうか。

そんな情けないことにならないように、常日頃から「やった方がいいな」「やるべきだよな」と感じていることは、自分から進んで実践しましょう。



### 万が一に備えて ～避難訓練～

27日（木）、第1回避難訓練が行われました。今回は、地震を想定した訓練でした。東日本大震災から13年目となり、すでに震災の記憶がない生徒が多いだけでなく、社会全体でも「過去の記憶」になりがちな雰囲気を感じます。震災を経験している私たち福島県民は、特に警戒心を持って日頃からその備えをしていく姿勢が大切です。



( 教頭先生の講話 )



### 有意義なGWに！

待ちに待ったゴールデンウィークが始まります。時間を有効に使って、有意義なGWにしてくださいね。そのために・・・

- 1 計画を立てる。
  - ・細かな計画ではなく大雑把に。その日やりたいこと、やらなければならないことだけは明確にしておきましょう。
- 2 ゆったりした時間（一コマ）をつくる。
  - ・1日の中で一コマだけ何もせずに心も体も休める時間を作りましょう。それが次の行動のエネルギーになります。
- 3 リズムは崩さない。
  - ・生活のリズムを変えると立て直すのが大変。基本のリズムは崩さないように。



### < 次週の予定 >

1	月	朝会
2	火	陸上部競技場練習(14:45～)
3	水	● 憲法記念日
4	木	● みどりの日 白河市バレーボール交流大会
5	金	● こどもの日 白河市バレーボール交流大会 県中・南中学校陸上記録会

### ◇◇ 今週の言葉 ◇◇

オラの未来は、  
オラが決めるんだゾ！

(ふたば幼稚園 野原しんのすけ)

～ このぐらいの気概は持ちたいものですね ～

